

ストーリーズ

Story's

(株)ホテル新山釣堀に聞く

水とニジマスの おいしい関係

最上義光公没後四百年記念インタビュー

私の最上義光公像



山住設備株式会社

〒990-2422 山形市中桜田三丁目9番18号
TEL 023-622-1188 FAX 023-633-4118
山形市上・下水道工事指定店 建設業許可 山形県知事(特・般)第100373号

水とニジマスの おいしい関係

Delicious relation between water and nijimasu

お話の相手 / (株)ホテル新山釣堀 代表取締役 山川廣年さん

聞き手 / 営業部 山口 学



おいit関係インタビュー、今回のトピックはニジマスです。当社に設備工事からメンテナンスをさせていたたいている(株)新山釣堀の山川社長にお話を伺いました。

(山)住設備 山口 以下：山)いつもお世話になってます。今日はニジマスのことなど色々教えていただこうと思つて来ました。よろしくお願ひいたします。
(新)新山釣堀 山川さん 以下：新)こちらこそよろしく。
(山)創業はいつですか？
(新)昭和37年に私の父が新山釣堀として始めました。昭和47年に株式会社ホテル新山釣堀として施設などを大きくしました。
(山)そうですか。釣堀としては広大な敷地で施設も大きいんですね。営業形態はどのような形になってるんですか？
(新)釣堀では貸竿にてニジマスを釣っていただきます。釣った魚はすべて買い取りになります。生のまま持ち帰っていただくか、こちらの方に塩焼きなどにして調理もいたします。単品や定食といったお食事だけでも構いません。今は宿泊は休みにしてありますが宴会や会合、ご法要など用途にあわせて常時受付けています。90畳の大広間をはじめ人数に合わせた宴会場をご用意しております。10名様より最大100名様くらいまでは大丈夫ですよ！山形市内及び近郊の方にはマイクロバスの無料送迎もしておりますのでお気軽にご相談下さい。四季おりおりの風景を眺めながら新鮮なニジマス料理を堪能していただきたいですね。
(山)いいですね。それはいよいよ本題のニジマスについて教えてください。
(新)ニジマスは蔵王温泉にある兄弟会社の蔵王釣堀さんより稚魚で仕入れられます。大きさは、重さでいうと2gくらいかな。多い年だと50万匹くらい仕入れる時

あります。ただし季節の変化により水温が上昇するとウィルスが発生しやすくなり、このウィルスなどにより約半数近くは死んでしまうんです。自然で繁殖する魚も同じですが、このウィルスなどをクリアしないければ生き残れず、大きくならなれません。厳しいんですよ。
(山)エサはなにを与えるんですか？
(新)配合飼料をあたえています。赤色素を配合したエサを与えることで、サケに似た薄紅色のサーモンピンクの身になります。刺身の状態だとわかりやすいですね。
(山)なるほど！エサで身に色を付けるんですね。どのくらいで成長するんですか？
(新)1年目で10センチくらいですかね。2年目で20〜25センチかな。2年目以降はすくまは成長しないみたいです。まれにそのままだく大きくなるものもいますけど。大きいのだと50〜60センチくらい、重さで2〜3キロくらいになりますよ。
(山)ニジマスってどのくらい生きるんですか？
(新)10年くらいかな。天然のニジマスだともう少し長生きするみたい。
(山)意外と長生きですね。ところで先ほどニジマスの刺身の話ができましたが珍しいですか？
(新)はい。一番のおすそめです。くせがなく食べやすいですよ。うちでは30センチ以上のニジマスを刺身で出しています。塩焼き、田菜は25センチ前後、それよりも小さい物はフライで、大きさによって区別しています。
(山)養殖しているニジマスは全部ここで消費するんですか？



(新)そうですね。ほとんどここで消費しますね。たまに学校に解剖用として出すことがあるかな。
(山)最後に水とニジマスの関係について毎回お聞きしてらるんですが、山川社長の水に対するこだわりをお聞かせ下さい。
(新)やはり魚を扱っているので水は大事です。昔は水道がなかったため沢水を使っていました。今でも養殖池はもちろんです。今年も沢水の配管を山住さんより工事してもらったんですが、うちにとっては生命線ですね。今年は大雨などで断水した市町村もあったようですが、山形市は断水しなかったという事は山形市は水道事業にお金をかけて整備しているんですね。ほんと助かりますよ。山住さんのような設備業者さんが日頃からがんばってくれているからだと思います！
(山)ありがとうございます。これからも頑張ります。
今回のインタビューでは掲載した内容以外にも、いろいろなお話を聞くことができました。山川社長の気さくな人柄に新鮮なニジマス料理。郊外に少し足をのびただけで、ゆたかな自然と清流のせせらぎで、やすらぎの時間が過ごせることと思ひました。ぜひ一度、自然の楽園、新山釣堀さんにご家族で足を運ばれてみては…



山川社長の おすすめ



- ニジマス塩焼き・・・300円
- ニジマス田菜・・・310円
- ニジマスフライ・・・370円
- ニジマス刺身・・・420円



※平成26年3月末までの料金です。▲刺身盛(写真は4名様分です)
小鉢・ご飯・みそ汁付きの定食もあります。

(株)ホテル新山釣堀
TEL.023-629-2211

〒990-0015 山形県山形市大字新山424
営業時間:釣堀 AM10時~PM6時まで
定休日:年中無休(但し年末年始3日間程は休み)
貸し竿:1本 50円(エサ付き)
生魚販売:1kg.1680円(税込)~

水と・・・の おいしい関係

Delicious relation between water and ...
私の最上義光公像



お話の相手／最上義光歴史館サポーター
霞城まちなみ案内人 松本芳雄さん(山形市元木在住)

聞き手／営業部 山口 学

おいしい関係イン
タビビュー番外編
です。

今年、山形市の礎を築いた戦国武将、最上義光公没後四百年を記念して当社のお客様で私と個人的な付き合いもある最上義光歴史館サポーター並びに霞城まちなみ案内人でもある松本芳雄さんに以外と知られていない最上義光公像のお話を伺いました。

(山)住設備山口 以下：山 今年是最上義光公没後四百年記念事業で何かと忙しかったのでは。

(松)おかげさまでこれまでの研究者の方々の努力と記念事業には多くの方々が参加され、最上義光公のイメージと評価もだいぶ変わったと思います。

(山)それはよかったですね。
(松)ただ、まだまだ「全国区」までは。(山)ところで松本さんは、ボランティアで活躍されているとお聞きしましたが。
(松)はい。定年後にやってみようというつもりで。少しも楽しんでみたいというお気持ちでできればと思っています。

(山)県外のお客様は最上義光を「ヨシアキ」と読めないそうですね。
(松)そうですね。県外のお客様の多くは「ヨシキツ」と読まれます。そこから案内が始まります。
(山)ご案内するのに特に気を付けている事は。
(松)先ずどちらから来られたかお聞きします。

(山)それはどうしてですか。
(松)私は最上義光公のサポーターです。特に新潟、置賜(米沢)の方々に気を付けています。知将と伝えられている直江

兼統は数日もあれば山形城を包囲すると豪語し侵攻してきました。ところが半月かかっても落とせず、さらに上杉庄内勢を谷地城に置き去りにして米沢に撤退しているのです。立場として優れた武将としてお話しして遊ばせんとお断りしてから進めます。遊ばせんな事があったの：と楽しんでくれますよ。
(山)一方的にだけでなく両方聞くことですね。私もあの大河ドラマ「天地人」では兼統は素晴らしい武将と書いていました。
(松)私も知将と思っていますよ。立場上(笑)。
(山)早速ですが、義光公のイメージの事ですが。
(松)やっぱりそこから入りますか。近年は知識人の方々の努力で、山形の偉人である自信を持って紹介できま

す。ただ残念なのが二十数年の大河ドラマ「独眼竜政宗」で伊達政宗とは敵役、そして暗さのイメージが今も引きずっているのが悔しいですね。
(山)悪評の事ですね。
(松)はい。先人の方があまりにもゆがめられ偏った評価をされたのだと思います。大正時代までは英雄視されていて、悪評に変わったのは昭和以降だそうですね。

(山)話は変わりますが、この鳥瞰図(※左ページ①)は松本さんが描かれたこと。絵心がありませんか。
(松)とんでもない。鳥瞰図があれば合戦の様子をリアルにご説明出来るのではと思いついて、悪評に変わったのは昭和以降だそうですね。
(山)一目でわかりますね。
(松)この鳥瞰図は、西蔵王高原上空から白鷹山を中心に眺望したものです。上杉軍が山形城を攻めるため二万数千の兵が進行し、菅沢山に本陣を構え長谷堂城を包囲するまでの侵略図と最上義光公を先頭に上杉軍を追いかけて行く

様子を描いたものですね。今までは名だけで容姿は見るのが出来ませんでした。軍記物や義光公に関する書物を研究し想像した二十四人です。我々郷土の武将をもっと話題にしたかったのと義光公没後四百年に再会してほしかったのです。完成後義光公の墓前で報告しました。四百年振りです。
(山)喜んでいただけようね。
(松)そんな気がしました。
(山)誰か紹介して下さい。
(松)左上段筆頭の志村伊豆守光安でしようね。山形市漆山(志村)の出身と伝えられています。
長谷堂城主で上杉軍の猛攻を一手に引受けた最上軍最高の知将です(この時五



▲義光公墓前にて「最上二十四将」

追撃戦図です。又、完全勝利した上山合戦と地の利を活かした小滝街道。最大の激戦地となった山王・七つ松付近等を描きました。上杉軍総大将・直江兼統が最上領に侵攻して半月も戦つて長谷堂城を落とせなかつた詳しい様子は原稿上無理ですね。
(山)残念ですが、合戦の話はゆつくり歴史館に行ってお聞きします。
(山)それから最上二十四将(※左ページ②)を描かれましたね。初めて見ましたが、名将揃いですね。
(松)はい。慶長出羽合戦に登場する義光公に仕えた郷土の自慢すべき武将です。今までは名だけ

で容姿は見るのが出来ませんでした。軍記物や義光公に関する書物を研究し想像した二十四人です。我々郷土の武将をもっと話題にしたかったのと義光公没後四百年に再会してほしかったのです。完成後義光公の墓前で報告しました。四百年振りです。
(山)喜んでいただけようね。
(松)そんな気がしました。
(山)誰か紹介して下さい。
(松)左上段筆頭の志村伊豆守光安でしようね。山形市漆山(志村)の出身と伝えられています。
長谷堂城主で上杉軍の猛攻を一手に引受けた最上軍最高の知将です(この時五



十五歳)。右上段筆頭は義光公の嫡男義康(二十六歳)です。伊達政宗に援軍要請に行き吉報を持ち帰つたのです。畑谷城主・江口五兵衛光清(五十六歳)は戦いで上杉軍に貴重な二日間足止めを食わせました。合戦の時の年齢等々最新線でご覧いただけますが原稿上無理です。
(山)素晴らしい武将達ですね。圧倒的に不利な最上軍。義光は心強かったですね。
(松)意気盛んに戦いに挑む武将をひき止めるのに苦労した伝説もあります。
(山)話は変わりますが仕事をされながらいろいろな面でボランティア活動をされていることに感心しました。小学校にも行かれていますか。
(松)私たちの仲間(義光会)で小学校に「こども講座」として学校にお伺いして義光公についてお話ししています。
(山)生徒さんには難しいのではないですか。
(松)こども用として準備してあります。真剣に聞いていますよ。副読本の中に山形の偉人として登場します。
(山)良かったですね。
(松)研究者と共に進めて行きたいです



▲図①「最上軍の追撃図」

▲図②「最前線で戦った勇敢な最上二十四将」



最上二十四将

慶長五年(一六〇〇年)
慶長出羽合戦

すね。
(山)それからもう一つ街の中をご案内しているとお聞きしましたが。
(松)「霞城まちなみ案内人」というボランティア組織です。霞城公園を始め山形市内をご案内しています。
(山)無料で案内されているんですか。知りませんでした。いやいや大変な活動ですね。
(松)ボランティアなので仕事の合間を見ながらやっています。
(山)松本さんの義光像が分かってきました。
(松)まだまだ実像はつかめておりませんが研究者のお力を借りて伝えているだけです。
(山)これからの目標は？

(松)私の周りには義光公の研究者、郷土史を研究されている多くの方に恵まれています。その方々の史料を参考に、偏ったイメージから山形の歴史上最大の偉人として、更に伝えて行きたいと思っています。
(山)今日はありがとうございました。これからも楽しみにしております。
今回のインタビューでは、掲載した内容以外にもいろいろなお話を聞くことが出来、義光公やその家臣の知らない一面を知ることが出来ました。
歴史、特に郷土の歴史となると、知れば知るほど新しい興味がわいてくるものですね。
第2弾も企画しようかな…。



山口学のこと

今回のストーリーズNo6作成にあたり、山川社長ならびに松本さんには心よく取材及びインタビューをさせていただき誠にありがとうございました。
今年の5月から渓流釣りを始めました。「一式そろえらなねべ〜」と友人に連れられ初めて行った自然満喫屋。眠い目をこすりながら夜中まで作った仕掛け。林道でカモシカと遭遇したこと(熊かと思いきや心が飛び出るほどびっくりした!)。一番最初に釣った15センチほどのヤマメ。嬉しかったな〜。休日のたびに釣りに行かせてもらって、ほんと、うちのカミさんには感謝しています。

山住の社員紹介

営業部 次長 山口学

- *住んでいるところ…上市市 *欲しいもの…〇万円の竿
- *好きなテレビ番組…リーガル・ハイ、ガイアの夜明け、吉田類の酒場放浪記
- *宝くじの一等が当たったら…自分の船を買ってクロマグロを釣ってみたい
- *よく行くお店…自然満喫屋、居酒屋大山(最近二無沙汰してます)
- *仕事上で心掛けていること…素早い対応・お客様とのコミュニケーション